

柔構造樋門の設計・3D配筋 (杭支持オプション)

Operation Guidance 操作ガイダンス





本書のご使用にあたって

本操作ガイダンスは、主に初めて本製品を利用する方を対象に操作の流れに沿って、操作、入力、処理方法を説明したものです。

ご利用にあたって

ご使用製品のバージョンは、製品「ヘルプ」のバージョン情報よりご確認下さい。 本書は、表紙に掲載のバージョンにより、ご説明しています。 最新バージョンでない場合もございます。ご了承下さい。

本製品及び本書のご使用による貴社の金銭上の損害及び逸失利益または、第三者からのいかなる請求についても、弊社は、その責任を一切負いませんので、あらかじめご了承下さい。 製品のご使用については、「使用権許諾契約書」が設けられています。

※掲載されている各社名、各社製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

©2022 FORUM8 Co., Ltd. All rights reserved.

目次

5 第1章 製品概要

- 5 1 プログラム概要 7 2 フローチャート
- 第2章 操作ガイダンス 8
- 1 入力 8
- 1-1 本体縦方向 8
- 2 計算実行 24
- 25 3 計算結果
- 4 計算書作成 28
- 29 5 データ保存

第1章 製品概要

1 プログラム概要

本プログラムは、「柔構造樋門設計の手引き(平成10年11月)(財)国土技術研究センター」を主たる適用基準とした柔構造 樋門本体縦方向、本体横方向、門柱、胸壁、翼壁、しゃ水工の設計計算を支援するプログラムです。

適用基準及び参考文献

適用基準書及び参考文献名称	<u>発行年月</u>	発行元
柔構造樋門設計の手引き	平成10年11月	財団法人国土開発技術研究センター
土木構造物設計マニュアル(案)-樋門編-	平成13年12月	国土交通省
土木構造物設計マニュアル(案)に係わる設計・施工の手引き	平成13年12月	国土交通省
(案)[樋門編]		
道路土エカルバート工指針	平成11年3月	社団法人 日本道路協会
道路土工カルバート工指針 平成21年度	平成22年3月	社団法人 日本道路協会
樋門標準設計 取扱い説明書	平成15年4月	国土交通省 北海道開発局
河川構造物の耐震性能照査指針・同解説	平成24年2月	国土交通省水管理・国土保全局治水課
河川構造物の耐震性能照査指針・同解説	令和2年2月	国土交通省水管理・国土保全局治水課
ーIV. 水門・樋門及び堰編-		
土木研究所資料 地震時保有水平耐力法に基づく	平成20年3月	独立行政法人土木研究所
水門・堰の耐震性能照査に関する計算例		耐震研究グループ(振動)
建設省河川砂防技術基準(案)同解説 設計編 [1]	平成9年9月	建設省河川局監修
		社団法人 日本河川協会編
河川砂防技術基準 設計編 技術資料 第1章第8節 樋門	令和3年3月	国土交通省
道路橋示方書・同解説 111鋼橋編	平成14年3月	社団法人 日本道路協会
道路橋示方書·同解説 IV下部構造編	平成14年3月	社団法人 日本道路協会
道路橋示方書·同解説 V耐震設計編	平成14年3月	社団法人 日本道路協会
道路橋示方書・同解説 Ⅳ下部構造編	平成24年3月	社団法人 日本道路協会
道路橋示方書·同解説 V耐震設計編	平成24年3月	社団法人 日本道路協会
日本道路協会 [杭基礎設計便覧]	平成19年1月	社団法人 日本道路協会
日本道路協会 [杭基礎設計便覧]	平成4年10月	社団法人 日本道路協会
日本道路協会 [杭基礎設計便覧]	昭和61年1月	社団法人 日本道路協会

機能及び特長

以下の計算機能を有しています。

- ・地盤反力係数算定
- ・地盤変位量計算
 - ・即時沈下量計算
 - ・圧密沈下量計算(Δ e 法, C c法, mv法)
 - ・側方変位量計算
 - ·残留沈下量照查
- ・圧密時間計算
- ・本体縦方向の計算(河川構造物の耐震性能照査指針・解説 耐震設計レベル2)
- ・柔構造樋門(柔支持基礎)本体の計算(キャンバー盛土を考慮した計算が可能です。)
- ・剛支持樋門(直接基礎)本体の計算
- ・相対変位量照査(柔構造樋門、本体縦方向と翼壁の一体化モデル、三面水路モデル)
- 地盤反力度照査
- 継手の照査
 - ・可とう性継手:開口,目違い,折れ角を算出します。
 - ・カラー継手:クリアランス,開口を算出します。
- RC函体応力度照査(円形函体も同様)

ブロックごとに曲げおよびせん断応力度照査を行います。

PC函体応力度照査
 単スパン緊張、全スパン緊張(パッシブテンション)の双方に対応した応力度照査を行います。

・杭支持モデル

杭種は、「鋼管杭」、「RC杭」、「PHC杭」、「場所打ち杭」、「SC杭」、「SC+PHC杭」、「鋼管ソイルセメン ト杭」、「回転杭」、「PC杭」に対応しており、各スパン、ブロック毎に異なる杭種を設定することができます。 照査内容は指定した杭種により異なりますが、「極限支持力」、「最大周面摩擦力」、「許容押込み支持力」、「許 容引抜き支持力」、「杭頭接合(結合)照査」、「負の周面摩擦力照査」の計算を行ないます。

但し、本体縦方向の計算(河川構造物の耐震性能照査指針・解説 耐震設計レベル2)については、別途、「函体L2断 面照査オプションキー」が必要です。 本体縦方向(杭支持モデル)については、別途、「杭支持オプションキー」が必要です。

・本体横方向の計算

- ・RC函体応力度照査(PC函体は未サポート)
- ・RC巻立函体応力度照査(RC矩形換算)

・円管ダクタイル鋳鉄函体応力度照査(他円管材質は未サポート)曲げおよびせん断応力度照査を行います。

また、樋門本体の付属構造物に対して以下の設計機能をサポートします。

・門柱の設計(河川構造物の耐震性能照査指針・解説 耐震設計レベル2)

- ・胸壁の設計(川表、川裏)
- ・翼壁の設計(川表、川裏)
- ・しゃ水工の設計

2 フローチャート



第2章 操作ガイダンス

1 入力

1-1 本体縦方向

レベル2のモデル(Sample5.F7H)を元に、杭支持のモデル(Sample11.F7H)を作成する手順です。 各入力項目の詳細については製品の【ヘルプ】をご覧ください。





Youtubeへ操作手順を掲載しております。 柔構造樋門の設計・3D配筋(杭支持オプション) 操作ガイダ ンスムービー(5:42) https://www.youtube.com/watch?v=sqN2XAt_J5Y







設計モデル

ツリーより条件-設計モデルをクリックします。 以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

<支持形式:杭支持>

木冬件					
₽★IT 法条件 □_ペⅡ.2ま	↓ 木冬供				
基本条件1 基本条	四十二十二 [42] 基本	冬件5]			
- 河川構造物の耐	震性能照到	≤1131			_
④ 令和2年2月			○ 平成24年2月	3	
- レベル2地震動脈 - C しない	[査		@ † ろ		
- 本体縦方向と翼	壁の一体(Ł	 三面水路の調	十首	_
● しない	् र	3	© しない	・	
- 函体形状	円形	_ ─ 形式 - ○ 1連	€ 2連	- 設計モデル C 柔支持 ・ 例支持	
- 函体種別) PC爾伯	±	▼ 単スパン!	器。 維手開口量許容値:	
PC画体: ブレス	トレストコ	・ コンクリート	画体 🔲 全スパン界	察張 50.0 n	nm
- 円管種別					_
 ○ 鋼管 ○ ドューム管 		 ○ コンク ○ ダクク 	クリート管 タイル鋳鉄管	○ 高耐圧ポリエチレン管	
- 沈下量算出方法			王密沈下の算定方法		_
□ 剛支持時に沈	下量を確認	忍する 下	Z ∆ e法 🛛 🗖	m v 法 🔽 C c 法	
◎ 沈下計算を行	ò	万	装留沈下量算出に用い	る圧密沈下量: <u>▲ e法 ▼</u>]
○ 沈下量を入力	する		平均庄密庄力 P		
□ 圧密沈下は	計算する	6	P'+AP'/2	C√P'×(P'+∆P	')
□ 即時,側方	は計算する		剛支持時の盛土荷重		
□ 圧密時間の計	官方行う		盛土荷重を自動載	可する 	
	# C 11 2	増	ゆ戻し土の湿潤単位	重量(kN/m3): 18.000	
L MARTIN LISIO	111床 しへ .		認定し主の跑和単位	[重重(kN/m3): 19.000	
- 沈下量の許容値					
- 沈下量の許容値 列 剛支持とみなす列		±: 300 ±: 50	0.0 mm 相対変位量 0.0 mm	基礎幅: 1.0 % 土: 50.0 mm	
- 沈下量の許容値 ^万 剛支持とみなすず		1 : 300 1 : 50	1.0 mm 相対変位量 1.0 mm	基礎幅: 1.0 % 土: 50.0 mm	
- 沈下量の許容値 ^万 剛支持とみなすず		1 : 300	0.0 mm 相対変位量 0.0 mm	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm × 取消 ? ヘルプ	(<u>H</u>]
- 沈下量の許容値 ^万 剛支持とみなすず	美留沈下量	£: 300	0.0 mm 相対変位量 0.0 mm	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm	(<u>H</u>
 、 、 ホ下量の許容値 		£: 300	0.0 mm 相対変位量 0.0 mm	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm	(H
 、 、 次下量の許容値 	表留沈下量 表留沈下量 &本条件 (牛2 基本	2: 300 2: 50 2: 50 5: 50 2: 50 5: 50 2: 50 2: 50 2: 50 2: 50 2: 50 2: 50 2: 50 5: 50 2: 50 2: 50 2: 50 5: 50 5: 50 2: 50 2: 50 2: 50 5: 50	0.0 mm 相対変位量 0.0 mm	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm	(H
 、沈下量の許容値 「 ジ ジ		£ : 300 £ : 50 矣 : 50 条件5	0.0 mm 相対変位量 0.0 mm	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm × 取消 ? ヘルブ	(H
沈下量の許容値 ⑦ 前支持とみなすず ○ ☆条件 レベル2者 基本条件 ● 総手形式 「可とう性維手	表留沈下星 美留沈下星 基本条件 ⁴ 2 基本	k : 300 k : 50 k : 50	0.0 mm 相対変位量 0.0 mm 確定	基礎幅: <u>1.0</u> % ±: <u>50.0</u> mm × 取消 <u>?</u> ヘルブ Eデル特のみ設置されます	(H
沈下量の許容値 別支持とみなす列 別支持とみなす列 上マル2者 本条件 上マル2者 本条件1 基本条件1 基本条件1 「可とう性維手 維手の基準値	書留沈下星 書留沈下星	£: 300 £: 50 条件5] 	0.0 mm 相対変位量 0.0 mm 描述 ・ 確定 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	基礎幅: <u>1.0</u> % ±: <u>50.0</u> mm × 取消 <u>?</u> ヘルブ Eデル特のみ設置されます	(H
 次下量の許容値 う 前支持とみなす列 前支持とみなす列 前支持とみなす列 か条件 しペル2者 な本条件 しペル2者 なな しペル2者 なん しペル2者 なな しペル2者 なな しペル2者 しペル しペル2者 しペル しペル2者 しペル2 しペル2 しペル2 しペル しペル2 しペル し し、 し、	美留沈下星 美留沈下星 ● 本条件 (42 基本 ፪(mm) [£: 300 £: 50 条件5 ▼ 100.0	0.0 mm 相対変位量 0.0 mm 相対変位量 1.0 mm 単一 単一 単一 単一 単一 単一 単一 単一 単一 単一	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm × 取消 ? ヘルブ Eデル時のみ設置されます	(H
- 沈下量の許容値 列支持とみなす列 列支持とみなす列 (本条件) レベル2者 基本条件1 基本条件 - 批手形式 「可とう性批手 - 批手の基準値 - 開口量基準値 目違い基準値	美留沈下星 美留沈下星 基本条件 (+2 基本 ፪(nm) [፪(nm)]	上: 300 上: 50 条件5 ↓ 100.0 0.0	1.0 mm 相対変位量 1.0 mm 相対変位量 1.0 mm 縦手は視致スパン ⁻ 開口量基準値 縦手の照音時	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm × 取消 ? ヘルブ Eデル時のみ設置されます を0.0とした場合は、 こ判定(0K/NG) お行いません	(H
 次下量の許容値	書留沈下量 書留沈下量 表本条件 (+2 基本 夏(mm) ┃ 夏(mm) ┃	k: 300 k: 50 k: 50 k	0.0 mm 相対変位量 0.0 mm 相対変位量 ・ ・ ・	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm × 取消 ? ヘルプ Eデル時のみ設置されます を0.0とした場合は、 こ判定(OK/NG)は行いません	(H
 次下量の許容値 第 前支持とみなすず 前支持とみなすず 前支持とみなすず 本条件 レベル2者 基本条件 レベル2者 基本条件 レベル2者 本条件 レベル2者 本条件 レベル2者 本条件 レベル2者 本条件 レベル2者 本条件 ロンド ホット <	美留沈下量 美留沈下量 5本条件 (mm) [(mm) [(mm) [(mm) [(mm) [k: 300 k: 50 k: 50 k: 50 k!: 50 k! 50 k!: 50 k! 50 k! 50 k! 50 k! 50 k! 50 k! 50 k! 50 k! 50 k!	1.0 mm 相対変位量 1.0 mm 相対変位量 1.0 mm 相対変位量 単 確定 縦手 は複数スパン= 1.0 開口量差準値 縦手の照直時 Ky (LN/m)	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm × 取消 ? ヘルブ Eデル時のみ設置されます 50.0とした場合は、 こ判定(OK/NG)は行いません Km (LN:m/red)	(<u>H</u>
 次下量の許容値 河支持とみなす列 河支持とみなす列 本条件 レベル2者 基本条件 レベル2者 面とう性批手 離手の基準値 「周口量基準値 「面違い基準値 本体左右端部のごった 	ま留沈下星 ま留沈下星 を本条件 (mm) (mm) 支持条件 K× (0,0000	k: 300 k: 500 k: 500 kit is 5	1.0 mm 相対変位量	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm × 取消 ? ヘルブ Eデル時のみ設置されます 50.0とした場合は、 こ判定(OK/NG)は行いません Km (kN·m/rad) 0.0000005-000	(<u>H</u>)
 次下量の許容値 第回支持とみなす列 回支持とみなす列 本条件 レベル2者 基本条件 レベル2者 基本条件 レベル2者 二、世界の基準値 一、総手の基準値 目違い基準値 一 本(本左右端部の) 左端支点パネ 右端支点パネ 	書留沈下量 書留沈下量 書留沈下量 書(mm) 書(mm) ま本条件 +2 基本 書(mm) また。	k: 300 k: 500 k: 500 k!: 5	0.0 mm 相対変位量 0.0 mm 相対変位量 単 ・ ・ ・	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm × 取消 ? ヘルブ Eデルキラのみ設置されます 50.0とした場合は、 こ判定(OK/NG))は行いません Km (kN·m/rad) 0.00000000E+000 0.00000000E+000	(H
 次下量の許容値 第間支持とみなす列 開支持とみなす列 第回支持とみなす列 本条件 レベル2者 総手形式 「可とう性継手 総手の基準値 一 離手の基準値 「閉口量基準値 「日違い基準値 本(本左右端部の) 左端支点パネ 右端支点パネ 本平方向パネの 	書留沈下量 書留沈下量 書本条件 [(mm)] [(mm)] 支持条件 Kx (0.00000 0.000000 [0.000000 [0.000000 [0.000000 [0.000000 [0.000000 [0.000000 [0.000000 [0.000000 [0.000000 [0.000000	k: 300 k: 500 k: 500 kit in 100.0 0.0 kit in 100.0 0.0 kit in 100.0 0000E+000 0000E+000	1.0 mm 相対変位量 1.0 単位 単位 1.0 日本単位 単位 1.0 日本単位 単位 1.0 日本単位 単位 1.0 0.00000000 0.0000000 0.00000000 0.00000000 0.00000000	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm ×取消 ? ヘルブ Eデル4句のみ設置されます 50.0とした場合は、 こ判定(OK/NG)は行いません Km (kN·m/rad) 0.0000000E+000 0.0000000E+000	(<u>H</u>
 次下量の許容値 第間支持とみなす列 開支持とみなす列 開支持とみなす列 本条件 レベル2表 総手形式 「可とう性継手 総手の基準値 一 離手の基準値 「閉口量基準値 「第口量基準値 「第口量基準値 「第口量基準値 「第二量基準値 「第二量基準値 「第二二、「第二」 (三)「本 「本(市支右端部の)」 「ごを振い、 (三)「本 (三)「本 (二)「本 (二)「本	書留沈下重 書留沈下重 書留沈下重 を本条件 (mm) 夏(mm) [(mm)	ま: 300 ま: 50 ないので、 ないので、 はいので、 はいので、 ない	1.0 mm 相対変位量 1.0 単位 単位 1.0 日本学校値 単行の照査時 Ky (kN/m) 0.00000000E+000 0.00000000E+000 0.00000000E+000	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm ×取消 ? ヘルブ Eデル時のみ設置されます 50.0とした場合は、 こ判定(OK/NG)は行いません Km (kN·m/rad) 0.00000000E+000 0.0000000E+000	(<u>H</u>
 次下量の許容値 第団支持とみなす列 町支持とみなす列 町支持とみなす列 マンロシスクション 総子の基準値 開口量基準値 一 一 本(本左右端部の) 左端支点パネ 右端支点パネ 本(不方向)(ネの) ごの(本周長(張し) ごの(本周長(張し) ごの(本周長(張し) 	ま留沈下星 素留沈下星 素留沈下星 を本条件 (mm) (mm) 支持条件 K×(0.00000 0.00000 り出して寸法は り出ししてはい	上: 300 上: 50 上: 50 日 二 100.0 0.0 に kN/m) 0000E+000 0000E+000 0000E+000	1.0 mm 相対変位量 1.0 mm 相対変位量 1.0 mm 相対変位量 #世手は複数スパシニ 調査時 #世子しは複数スパシニ # 開口量差準値 # り取査時 Ky (kkV/m) 0.00000000E+000 0.00000000E+000	 基礎幅: 1.0% ±: 50.0 mm × 取消 ? ヘルブ Eデルキラのみ設置されます を0.0とした場合は、 ご判定(OK/NG)は行いません Km (kN·m/rad) 0.0000000E+000 0.0000000E+000 	(<u>H</u>
 次下量の許容値 第団支持とみなすず 町支持とみなすず 町支持とみなすず ロショキンのなり 総工業(1) 基本条件 レベル23 基本条件 レベル24 レベル24 「マンコキンペー 一、総工業(1) 二、「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	書留沈下星 書留沈下星 書留沈下星 基本条件 (mm) 【(mm) 】 支持条件 Kx (0.000000 第二日、「法法、(0.000000 第二日、(1) 「法法、(1) 「」」(1) 「法法、(1) 「法法、(1) 「法法、(1) 「法法、(1) 「法法、(1)	上: 300 上: 50 上: 50 日 二 100.0 0.0 に kN/m) 0000E+000 0000E+000 0000E+000	1.0 mm 相対変位量 1.0 Mm 日本 1.0 日本 1 1.0 0.00000000 1 1.0 0.00000000 1 1.0 0.00000000 1 1.0 0.00000000 1 1.0 0.00000000 1 1.0 0.00000000 1 1.0 0.00000000 1 1.0 0.00000000 1 1.0 0.000000000 1 1.0 0.000000000000 1 1.0 0.00000000000000000000000000000000000	基礎幅: 1.0 % ±: 50.0 mm ★ 取消 ? ヘルブ ★ 取消 ? ヘルブ Eデルキラのみ設置されます 50.0とした場合は、 こ判定(OK/NG))は行いません Km (kN·m/rad) 0.0000000E+000 0.0000000E+000 100	(<u>H</u>

断面照査適用基準(最小鉄筋量) -

─ 組合せ荷重に連動荷重を設定 -

 ・鉛直土圧係数の算定条件
 ・ ・通常の地盤
 ・

⊙ する

● 柔構遺髄門 設計の手引き ○ 道路橋示方書 Ⅳ下部構造編

○ しない

○ 良好な地盤

入力範囲 : 0.0 ~ 999.9

○ 道路橋示方書 Ⅳ下部構造編

✓ 確定 × 取消 ? ヘルブ(出)

基本条件1

ツリーより条件-基本条件をクリックします。 以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

<河川構造物の耐震性能照査指針:令和2年2月> <設計モデル:剛支持>

基本条件2

タブより基本条件2をクリックします。 以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

<函体内水重の取り扱い:考慮しない>

基本条件

─地盤種別 ○ I種	○ Ⅱ種	◎ Ⅲ種		
地域区分	what ⊂ B1+what	i ⊂ B2tatati ⊂ C	tło tati	
	接入力		0.24	
1沈下量の指定方法-		,		
常時を使用する	C L	1沈下量を入力す	5	
♣件 ♣件 レベル2基本条	±(†	✔ 確定	🗙 取消	ă ? ^ม
▲件 条件 レベル2基本条 ル2基本条件1 レベ 地で転い22日	ะ件 ル2基本条件2	✔ 確定	│	i ? ^,
★件 条件 レベル2基本条 ル2基本条件 レベ レベ 地変動選択 ・レベル2-1	:件 ル2基本条件2 で レベル2-2	✓ 確定	│ <u>×</u> 取消	á <mark>?</mark> ^,ι
▲件 条件 レベル2基本条 ル2基本条件1 ↓レベ 地震動選択 ・ レベル2-1 け感性能 ・	#件 ル2基本条件2 で レベル2-2 で 3	✓ 確定	<u>×</u> 取消	i ? ^,ι
4件 レベル2基本条 ル2基本条件1 レベ を 数 動選択 ・レベル2-1 ・レベル2-1 ・レベル2-1 ・ が 数 にとなった場合の ・ めっ あ いとして 計算で ・ ・ いる い、 ク uを ク い く の 、 の して いま い 、 の いた い 、 の いた	 (キ) (モ) レベル2-2 (モ) レベル2-2 (モ) (E) (E	✓ 確定 ○ 全て 3 ○ 少を同比率で 行する	▲ 取消	i <u>?</u> ~π
	 (件) ル2基本条件2) ・ レベル2-2 ・ レベル2-2 ・ クロ理 ・ を続行する として計算を続け 処理する ◆ 由線生成方法 	✓ 確定 ○ 全て 3 ○ ゆyを同比率で 行する	▲ 取消	i ? ^,ι
	 (件) ル2基本条件2) ・レベル2-2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	✓ 確定 ○ 全て 3 ○ 少を同比率で 行する トリリニア型 の取り扱い Encretable to the Term		í ? ~1
・ ・レベル2基本条 ・ ・レベル2基本条 ・ ・レベル2基本条 ・ ・	 (キ) ル2基本条件2 ・レベル2-2 ・レベル2-2 ・ <l< td=""><td>ぐ 確定 ぐ 全て ろ ○ 全て 3 「 ゆッを同比率で 行する トリリニア型 の取り扱い 最圧縮緑鉄筋かぶ 洗井(水)(本)</td><td> <u>×</u>取消 ○縮小する り位置</td><td>í ? ~1</td></l<>	ぐ 確定 ぐ 全て ろ ○ 全て 3 「 ゆッを同比率で 行する トリリニア型 の取り扱い 最圧縮緑鉄筋かぶ 洗井(水)(本)	<u>×</u> 取消 ○縮小する り位置	í ? ~1
▲件 ↓//2基本条件1 ↓ レベ 地震動選択 ・レベル2と本条件1 ↓ レベ 地震動選択 ・レベル2-1 対震性能 ・2 か>Muとなった場合の ・Muを加として計算? ・計算エラーとして致 いがくMuとして計算? ・計算エラーとして致 いがくMuとして計算? ・計算エラーとして致 いがくMuとのかん。 ・がイリニア型 い算出時の ε cu発生信 ・コンクリート圧縮結 地震時地鑑変位の載得 何重 単年の表準備	(件) ル2基本条件2 ・レベル2-2 ・・レベル2-2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 ✓ 確定 ○ 全て ○ 全て □ Φyを同比率で ○ 行する トリリニア型 ○ 取り扱い 最圧縮縁鉄筋かぶ、 違制変位 	↓ ▼取消	i ? ~μ
条件 レベル2基本条 条件 レベル2基本条 ・レベル2基本条 レベル2基本条 ・レベル2-1 ・ レベル2-1 ・ ・ ・ レベル2-1 ・ ・ ・ シンクレン2-1 ・ ・ ・ シンクレン2-1 ・ ・ ・ シンクレン2-1 ・ ・ ・ シンクレン2-1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	#件 # レベル2-2 で レベル2-2 で ジ を続行する として計算を続 ゆ曲線生成方法 で ゴ 奇方法 (で 可 100.0	 ✓ 確定 ○ 全て ○ 全て ○ (1) <li< td=""><td>」 ▼ 取消</td><td>i ? ~<i>ι</i>ι</td></li<>	」 ▼ 取消	i ? ~ <i>ι</i> ι
合件 シペル2基本条 条件 レペル2基本条 パレ2基本条件1 レペル2基本条 ・レベル2-1 ・ ・ レベル2-1 ・ レベル2-1 ・ レベル2-1 ・ レベル2-1 ・ レベル2-1 ・ レベル2-1 ・ トック ・ レベル2-1 ・ 小 ・ 小 ・ 小 ・ 小 ・ 小 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ <	 (件) ル2基本条件2) ・レベル2-2 ・ レベル2-2 ・ クロック を続行する として計算を続け ・ ひて計算を続け ・ のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	 ✓ 確定 ○ 全て ○ 全て ○ 中ッを同比率で ○ 「 中ッを同比率で ○ 「 中ッを同比率で ○ 日本の ○ 開口量基準 ※ ※ 	」 ▼ 取消	 ? ヘル ? ヘル
件 条件 レベル2基本条 ジレ2基本条件1 レベ シレベル2-1 耐酸性能 : ? 2 かど加となった場合の : * Myを加として計算3 : * 前室 エラーとして気 : ため、Myを加として計算3 : * 前望 エラーとして気 : ため、MyMu時のMed : * ゴンクリート圧縮総 : 増口量基準値(mm) : 間二日基本準値(mm) : 創ぶネの一次町出こさ : (+ す計算時) :	(中) ル2基本条件2 (・レベル2-2 (・レベル2-2) (・レベル2-2) (・レベル2-2) (・ロック) を続行する として計算を続い 必理する か曲線生成方法 (・ロック) (・ロック) <	 ✓ 確定 ○ 全て 3 「	」 ▼ 取消	í <u>? ヘル</u> - 場合は、 NG)は行いませ
	(件) ル2基本条件2 ・レベル2-2 ・レベル2-2 ・	 ✓ 確定 ○ 全て ○ 全て ○ 中ッを同比率で ○ 「すする トリリニア型 ○ 取り扱い ● 取り扱い ● 取り扱い ● 開口量基準	取消 ■ ご縮小する ■ ● 」 回 値 を0.0とした 10000	í <u>? ヘル</u> - 場合は、 NG)は行いませ
条件 レベル2基本条 条件 レベル2基本条 ドル2基本条件1 レベ レベル2-1 耐酸性能 レベル2-1 耐酸性能 トック加となった場合の 防酸を加として計算さ かが加となった場合の 防酸を加として計算さ かり加となった場合の トック加として計算さ 1 加支加シタッジ 1 計算エラーとして致 4に対し、有いて型 小算出時のをcu発生値 「コンクリレート圧縮総 地震時地盤変位の載符 ・「市重 世長の基準値 開口量基準値(mm) 自違い基準値(mm) 創パネの一次開性目にす ト・ がネの一次開性目にす 「する」 創パネの一次開性目にす 「する」 創パネの一次開生にまた 「する」 創作利力照査 ***** 11/「利力照査 **** 11/「利力照査 **	(中) 1/2 基本条件2 ル2 基本条件2 (・) (・) レベル2-2 (・) (・) レベル2-2 (・) (・) レマル3 (・) (・) レマ計算を続け (・) (・) レマーン (・)	 ✓ 確定 ○ 全て ○ 全て ○ 中ッを同比率で ○ 「すする トリリニア型 ○ 取り扱い ● 取り扱い ● 開口量基準 ※社手の照査 ○ 別門性比: 1 / 「 □ しない 地震時 つ 力によるM- ゆ特性 ○ 照査する 	」 ▼ 取消	i (? ヘル :場合は、 NG)は行いませ

基本条件(基本条件5)

×

タブより基本条件5をクリックします。 以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

L1地震時慣性力(設計水平震度)の条件 <地盤種別:III種> <地域区分:A1地域>

設計水平震度を直接入力する際は、「設計水平震度直接入力」スイッチをON(チェック)します。 L1沈下量の指定方法は、「柔支持モデル」の場合に指定することができます。

レベル2基本条件(レベル2基本条件1)

タブよりレベル2基本条件をクリックします。 以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

<地震時地盤変位荷重の載荷方法:強制変位> <M-φ計算時に軸力1/2計算:する>

基本条件 X
基本条件 レベル2基本条件
レベル2基本条件1 レベル2基本条件2
しゃ水鋼矢板の取り扱い ・ 計算に考慮しない。
スパン間支点バネのX方向拘束条件 で 拘束しない C 拘束する
地盤変位鉛直荷重の上眼値 ・ 鉛直土圧
地盤水平方向強制変位の上限値 ・最大周面摩擦力、受働土圧 C 上限値なし
面体上面の上限値算出時の函体幅 ○ 張り出し寸法無視 ○ 張り出し寸法無視
酉体下面の上限値算出時の函体幅 ○ 張り出し寸法無視 ○ 張り出し寸法無視
地盤変位荷重算出時(幅B)の算定方法 C 張り出し寸法考慮
洋力算出時(幅B)の算定方法 ○ 張り出し寸法考慮 ○ 張り出し寸法無視
断面諸量の算定方法
有効高さ算出時の鉄筋範囲 © 図心位置より引張域 の 〕 頁版・底版配筋域
✔ 確定 │ ★ 取消 │ ? ヘルブ(出)

レベル2基本条件(レベル2基本条件2) タブよりレベル2基本条件-基本条件2をクリックします。

変更する点はありません。

確定ボタンをクリックします。

材料

歯用基準 ・土工指針 H11 ・柔構造随門 設計の手引き ・随門標準設計(国土交通省 ・建設省河川砂防技術基準(3	北海道限 案)	発局)		0000	道路橋示方書 北海道建設部 土工指針 H21 河川砂防技術基準				
単位重量					鉄筋				
躯体	γc	kN/m ³	24.50		「SD295 ● SD345			□ A	厳しい環境下
水	γw	kN/m ³	9.80					常時	地震時
コンクリート					許容引張応力度	σsa	N/mm ²	176.50	294.15
設計基準強度	σck	N/nn ²	23.50		許容圧縮応力度	σsa'	N/mm ²	196.10	294.15
ヤング係数 *10*	Ec	N/nm ²	2.45				主鉄筋		345.00
許容曲げ圧縮応力度	σca	N/nn ²	7.80		鉄筋の降伏強度	帯鉄	筋		345.00
許容軸圧縮応力度	σca	N/nn ²	6.37						
許容せん断応力度	τal	N/nn ²	0.380		しゃ水綱矢板				
"	τa2	N/nn ²	1.670		ヤング係数 *105		Ep	N/nn²	2.00
押抜きせん断応力度	τa3	N/nn ²	0.880						
許容付着応力度	τOA	N/nn ²	1.570						
平均せん断応力度	το	N/nn ²	0.347						
ヤング係数比	Es/Ec		15.0						
			入力範囲:	1.	00 ~ 5.00				
			,		~ 1	確定	×	取消	? ヘルプ(

設定確認
※
適用基準 が変更されました。 以下の許容値を適用基準に基づいて再設定しますがよろしいですか?
コングリート:許容軸近圧縮応力度 8.00 -> 7.97 (N/mm^2)
コングリート:許容軸近圧縮応力度 6.00 -> 6.53 (N/mm^2)
コングリート:許容性必断応力度 10.390 -> 0.385 (N/mm^2)
コングリート:許容性必断応力度 10.390 -> 0.385 (N/mm^2)
コングリート:許容付者応力度 70.390 -> 0.388 (N/mm^2)
コングリート:許容付者応力度 10.00 -> 1.687 (N/mm^2)
コングリート:許容付者応力度 10.00 -> 1.687 (N/mm^2)
コングリート:許容付者応力度 10.00 -> 1587 (N/mm^2)
武務:常時許容引張応力度 180.00 -> 196.10 (N/mm^2)
鉄筋:地震時許容引張応力度 200.00 -> 196.10 (N/mm^2)
鉄筋:地震時許容日建縮応力度 200.00 -> 294.15 (N/mm^2)
(水筋:地震時許容日建縮応力度 300.00 -> 294.15 (N/mm^2)
(水筋:地震時許容日運縮応力度 300.00 -> 294.15 (N/mm^2) ッリーより材料をクリックしてください。 以下の項目について選択肢を変更します。

<適用基準:柔構造樋門 設計の手引き> <コンクリート-設計基準強度σck(N/mm2):23.50>

ダイアログが表示されます。

「はい」ボタンをクリックし、確定ボタンをクリックします。

盛土



地層



水位・土質

水位・	土質							×				
0.0		<u>61.</u>					•					
-2.5	-2.5											
-5.0	-5.0											
-/.5-												
-10.0												
-12.5		=					:					
	-20.0 -17.5 - 15.0 - 12.5 - 1	0.0 -7.5 -5.0 -2.5	0.0 2.5 5.0	7.5 10.0 12.	5 15.0 17.5 20.0	22.5 25.0 2	7.5 30.0 32.5 35.0	37.5 40.0 42.5 45.0				
1.64	1											
王寅	パラメータ 水位	1						1				
層No	地層名称	層区分	湿潤重量 (kN/n ³)	飽和重量 (kN/m ³)	内部摩擦角	N/ē	即時沈下/ 側方変位用 Es	地盤反力係数用 α・Eo				
1	砂質	砂層	18.000	19.000	30.00	1.0	1400.0	2800.0				
2	シルト(1)	粘性土層	18.000	19.000	0.00	4.1	5740.0	11480.0				
3	シルト(2)	粘性土層	18.000	19.000	0.00	7.8	10920.0	21840.0				
4	シルト(3)	粘性土層	18.000	19.000	0.00	8.7	12180.0	24360.0				
5	シルト(4)	粘性土層	20.000	19.000	0.00	10.6	14840.0	29680.0				
6	シルト(5)	粘性土層	20.000	19.000	0.00	50.0	70000.0	140000.0				
				半角84文字.	以内							
							産正 × 月68					

堤防盛土

変更する点はありません。

確定ボタンをクリックします。

層

以下の項目について数値 (選択肢)を変更します。

層(始点·終点座標)

5を変	5を変更、6を追加								
5を変更、6を追加 始点YS(m) 終点YE(m)									
5	12 000	12 000							

5	-12.000	-12.000
6	-13.000	-13.000

確定ボタンをクリックします。

以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

土質

<No6の地層名称:シルト(5)> <No2~No6までの内部摩擦角:0.0」と入力します> <No6の湿潤重量:20.000、N値:50.0と入力します>

函体・継手

しゃ水鋼矢板

連動荷重								>
3.75 川裏						11	₹.	
1.25		4						
0.00		€÷			• -	-Ð →		
-2.50	-2.50-1	.250.00 1.25 2.50 3.75 5.00	6.25 7.50 8.75 10.0(1	1.2512.5(13.7!15.0016.	2!17.5018.7!20.0021	.2!22.5(23.7525.0	(26.2527.5(28.7	\$30.0
「西体左端から」 の位置(a)	洲時	地震時						
P%± ->	荷重	ケース数: 1 1 1.2	8 4 5		門柱達動 左腕	壁達動 右胸盤	達動	
22.800	লি	重ケース名称:門柱・胸壁	(第時)1					
0.300	No	名称	面体左端から の位置(n)	荷重ケース	×軸方向 集中荷重(kN)	Y軸方向 集中荷重 (kN)	モーメント 荷重 (kN·n)	^
右胸壁>	1	P94±	22.850	指定なし	0.00	1632.86	48.71	-
1	2	左腕壁	0.900	指定なし	-684.05	594.73	-602.22	
※常時・地震時 全荷重ケース	3	右胸壁	22.400	指定なし	623.58	464.14	348.66	
にて共通	4							
	5							
	6							~
								_
					✓ 確認	2 🗙 取済	1 ? ~JV	±(₽)

<mark>連動荷重</mark> 変更する点はありません。

確定ボタンをクリックします。

24000 15000 4500 4500 24000

ár.15	7.00	7.0.+****					鋼矢板データ			^
No	No	の距離(n)	純新面積 (m ²)	矢板長 (n)	周長 (n)	N/ē	函軸方向パネ (kN/n)	鉛直方向パネ (kN/m)	回転バネ (kN·m/rad)]
1										
2										
3										١.
				_	_	_				
	-1									•

しゃ水鋼矢板

データを削除します。

<矢板No1のスパン左端からの距離をマウスで選択して 「Delete」キーを入力します>

地震時沈下・水平分布



地震時沈下・水平分布(レベル2) 項番7以降更新

項番	函体左端から	レベル2-2沈	レベル2-2水
	の距離X(m)	下量(mm)	平変位量(mm)
1	0.0000	10.25	-80.87
2	0.5000	11.00	-76.45
3	0.9000	12.78	-67.00
4	1.0000	14.78	-62.12
5	1.5000	15.67	-60.34
6	2.0000	17.78	-57.45
7	2.2500	18.00	-56.00
8	2.5000	18.65	-55.32
9	3.0000	19.76	-53.67
10	3 5000	20.01	-50.67
11	4.0000	21.78	-48.45
12	4 5000	22.89	-46.78
13	5 0000	25.89	-43 56
14	5 5000	27.89	-39.76
15	6 0000	29.56	-36.89
16	6 5000	30.67	-30.03
17	7,000	30.07	-31.30
10	7.0000	32.07	-29.45
10	7.5000	42.70	-20.45
19	8.0000	44.50	-23.45
20	8.5000	40.78	-22.45
21	9.0000	48.56	-18.65
22	9.5000	50.67	-16.43
23	10.0000	52.78	-13.78
24	10.5000	54.98	-10.34
25	11.0000	60.67	-5.34
26	11.5000	62.67	-2.34
27	12.0000	65.89	0.00
28	12.5000	63.00	3.40
29	13.0000	61.78	8.56
30	13.5000	59.56	13.56
31	14.0000	58.67	16.78
32	14.5000	54.78	19.68
33	15.0000	53.23	23.78
34	15.5000	52.15	29.56
35	16.0000	50.15	33.45
36	16.5000	47.89	36.78
37	17.0000	45.78	40.45
38	17.5000	44.56	43.45
39	18.0000	42.67	46.76
40	18.5000	40.52	50.45
41	19.0000	39.76	55.34
42	19.5000	38.63	58.89
43	20.0000	36.45	62.98
44	20.5000	35.78	67.08
45	21.0000	32.56	70.43
46	21.5000	30.65	71.45
47	21.7500	29.00	73.00
48	22.0000	28.56	74.78
49	22.4000	27.54	79.45
50	22.5000	24.67	81.56
51	22.8500	23.67	84.67
52	23.0000	20.12	89.56
53	23.5000	18.56	93.67
54	24.0000	14.35	96.67

※沈下量データは、ファイルから読み込むことや書き込むこと が可能です。

配筋

∰ 鉄筋(常時・L1、L2)														×
※常時・レベル1地震時は「部材」	が「頭飯」	または	「底版」:	tiro, 1	職長・感	扳厚筆	個内の	鉄筋のみ	考慮します。	レベル2	は全鉄筋を	考慮しま	ŧす。	
主鉄筋 斜羽 限鉄筋/帯鉄筋 横拘頭 スパン・ブロック 主鉄筋本数	185 Ø 992677	5 参照	なし		3	- 4	1996	をコピーす	15					
1-2 124	部材	記畫面	位置	かぶり (m)	鉄筋径	本数	ピッチ (nm)	開始語知 (mn)	最小ピッチ (nn)	鉄筋量 (mm ²)				^
	底版	外	簡易入力	129.5	D25	26	250	100.0	250	13174.2				
	底版	内	簡易入力	99.5	D25	14	500	100.0	250	7093.8				
	頂版	内	简易入力	99.5	D25	14	500	100.0	250	7093.8				
	頂飯	外	簡易入力	99.5	D25	26	250	100.0	250	13174.2				
	両側壁	外	上寄せ	101.0	D25	8	347	571.3		8107.2				
	両側壁	内	上寄せ	101.0	D25	8	440	650.5		6080.4				
	隔壁	左右	上寄せ	101.0	D25	6	450	625.0		6080.4				
	福壁	左右	上寄せ	101.0	D25	2	2500	500.0		2026.8				~
	-									✔ 確定	X I	取消	? ^л	r⊐(₽)

鉄筋(常時・L1、L2) 主鉄筋

鉄筋のかぶり、鉄筋径、ピッチを入力します。 以下の項目について数値 (選択肢)を変更します。

他、変更はありません。

スパン・ブロック 1-1 参照断面:なし

部材	配置面	位置	かぶり	鉄筋径	本数	ピッチ	開始距離	最小ピッチ	鉄筋量
			(mm)		(本)	(mm)	(mm)	(mm)	(mmํ)
頂版	外	簡易入力	99.5	D25	-	250	100.0	250	-
頂版	内	簡易入力	99.5	D25	-	500	100.0	250	-
底版	内	簡易入力	99.5	D25	-	500	100.0	250	-
底版	外	簡易入力	129.5	D25	-	250	100.0	250	-
両側壁	外	上寄せ	101.0	D25	8	347	571.3	-	-
両側壁	内	上寄せ	101.0	D25	6	440	650.5	-	-
隔壁	左右	上寄せ	101.0	D25	6	450	625.0	-	-
隔壁	左右	上寄せ	101.0	D25	2	2500	500.0	-	-

荷重



杭支持



<mark>組合せ荷重</mark> このまま、確定ボタンをクリックします。

基本条件 以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

杭頭接合照査
 <照査するにチェックを入れます。>
 <接合方法:方法B>
 負の周面摩擦力検討
 <検討するにチェックを入れます。>
 <抗体応力度:道示Ⅳ>
 側方地盤変位照査点分割数
 <分割数(常時・L1・L2):10>

杭登録		×
名称 鋼管杭 RC杭	<u>杭種</u> 鋼管杭 RC杭	追加
		肖明余
	🖌 確定 🛛 🗙 取消	? ヘルプ(<u>H</u>)

抗編集		_					×
【机形状】】計算条件	11		-				
oraz (asieror v	枕断面	断面番号	網管厚	酒管厚	材質		
	調管杭	断面1	10.0	LETRIBLE (BB)	SKK 400		
					1 10	定 × 取消	? ヘルプ(H)

伏 計算条件	
梁支持力度 枕の種類 © 波特院 ○ 摩擦枕	
 ○ qd(idt/n2) 0.000 (d(idt/n2)) 0.000 (d(idt/n2)) 0.000 (f)ち込み枕 	
 ○ 枕先端の極限支持力を低減する □ 換算線入れ比直接指定 □ 支持地熱制直直接指定 □ 0.000 	「 ∝の重出は、フーチング編部の状态対象にする - 秋節時福祉状态 - - - - - - - - - -
の周囲庫博力 秋季応力度 秋季応力度 2015 000 2015 000 000 000 000 000 000 000 000 000	No 本就 (mo) 針筋形 外間 1 10 100.000 C62 ×
mproAcrime (9700 mmc) 200,000 コンクリートの除伏応力度 σoy(N/mm2) 0,000 鋼材の強伏応力度 σoy(N/mm2) 0,000	 抗頭カットオフ照査 「 照査する
	PC調材 新面価/vp(mn2) 中誌的部(コンクリート)(裏博術教1.0の(値) の co(N/mn2) の.0 の co(N/mn2) 0.0 で co(N/mn2) 0.0
	中誌の部のCN 補強鉄筋 の 無限する かぶり(m) 鉄筋量(m2)
	枕待部 0.0 中話的部 0.0

杭登録

追加ボタンをクリックして杭を追加します。

鋼管杭-杭形状 <名称:鋼管杭> <鋼管径(mm):700.0> <杭断面-鋼管厚:10.0>

鋼管杭-計算条件 <打ち込み杭:杭先端の極限支持力を低減するをチェックし ます。> <打ち込み杭:換算根入れ比直接指定、支持地盤N値直接指 定のチェックを外します。> <抗体応力度-降伏応力度 σy(N/mm):235.000> 杭頭接合照査 L(mm) 100.0 h(mm) 2400.0 h'(mm) 600.0 ht(mm) 100.0 杭頭補強鉄筋 No. 本数 かぶり(mm) 鉄筋径 外周

1 10 100.000 D32 ×

杭編集							×
株名称 : 80枕		_					
(税形状)計算条件							
杭楂 RC杭 💌	新面変化数 1		•				
ライブラリ 【杭基礎設計便覧(H18) ▼	杭始而			71.12.4 71.4 (9).07	1		-
	杭種	断面番号	径x本数	スパイ ラル鉄船 のAvi通用			
本体時間(-) 0.000	RCAL	断面1	\$ 13×10	適用しない			- 1
 単広志 「TEAPOTTS」のフロンマント 「TEAPOTTS」のフロンマント 「TEAPOTTS」のフロンマント 「TEAPOTTS」のコート(TEA) 「TEAPOTTS」のコート(TEA) 「TEAPOTTS」のコート(TEA) 「TEAPOTTS」のコート 							
スパイラル鉄筋 鉄筋程 005 × 鉄筋材質 502354 × 脂肪品(m) 800.0							
	<u>II</u>				√ 確定 :	🗙 取消 📘 ? ヘルプ	œ





RC杭-杭形状
 <杭登録画面で追加ボタンをクリックします。><<名称:RC杭>
 <杭種:RC杭>
 <ライブラリ:杭基礎設計便覧(H19)>
 <杭径(mm):500.0>
 <スパイラル鉄筋-間隔s(mm):300.0>
 <杭断面-径×本数:φ13×10>
 <スパイラル鉄筋のAw適用:適用しない>

RC杭-計算条件

<打ち込み杭:すべてのチェックを外します。> <抗体応力度-降伏応力度 σy(N/mẩ):34.000> 抗頭接合照査 L(mm) 100.0 h(mm) 2400.0

h(mm)2400.0h'(mm)1000.0h t (mm)0.0

<て v の算出は、フーチング端部の杭を対象にする。 にチェック を入れます。 >

杭頭補強鉄筋

No.	本数	かぶり(mm)	鉄筋径	外周
1	8	100.000	D32	×

確定ボタンをクリックします。

杭登録画面で確定ボタンをクリックします。

材質

コンクリート材料-RC杭 <許容せん断応力度:0.480> 単位重量 ヤング係数 コンクリート材料 鉄筋 鋼材材質 全てのタブ、他変更する点はありません。

														~
213	>No:		ックNo:[1	-	•							税	配置情報のコピ	-
_														
No	<i>縦方向</i> 座標((a)	使用就	枕長(u)	本数	横方向 間隔2(a)	杭間碼 →杭径	請計地盤面 常時(a)	請計地盤面 地震時(s)	設計総合面 12地震時(n)	中立点位置	上載简重 (kN/m ²)	バネ定数 Kv	Kv (idi/a)	^
No 1	縦方向 座標X(m) 1.000	使用成 鋼管机	枕長(w) 10.000	本 数 3	横方向 間隔≇(w) 2.003	枕間碼 ÷枕徑 2.500	時計地盤面 常時(a) 0.010	時計地盤面 地震時(m) 0.010	設計差盤面 1.2地震時(a) 0.000	中立点位置 (n) 2.010	上統简重 (kN/m ²) 0.010	バネ定数 Kv 計算価	(kv (kl/a)	Â
No 1 2	縦方向 座標X(m) 1.000 3.500	使用就 御管枕 鋼管枕	枕長(w) 10.000 10.000	本 <u>数</u> 3 3	根方向 間隔((w) 2.000 2.000	枕間碼 ÷枕徑 2.500 2.500	時計地盤面 常時(a) 0.010 0.010	論計地盤面 地震時(m) 0.010 0.010	助計差額面 L2地震時(n) 0.000 0.000	中立点位置 (a) 2.010 2.010	上載荷重 (kH/m ²) 0.010 0.010	バネ定数 Kv 計算価 計算価	(kv (kt/u) 	^
No 1 2 3	縦方向 密観X(m) 1.000 3.500	使用机 滑管机 滑管机	枕長(w) 10.000 10.000	本数 3 3	根方向 間隔(b) 2.000 2.000	林間調査 ÷杭徑 2.500 2.500	時計448000 第1時(a) 0.010 0.010	時計地盤面 地震時(m) 0.010 0.010	計算計整整面 L2地震時(m) 0.000 0.000	中立点位置 (a) 2.010 2.010	上載消重 (M/m ²) 0.010 0.010	バネ定数 ドッ 計算価 計算価	(i.dl/u) 	^
No 1 2 3 4	縦方向 座標X(m) 1.000 8.500	使用就 鋼管机 鋼管机	枕長(s) 10.000 10.000	本 数 3	積方向 間隔計(a) 2.000 2.000	秋間55 ÷杭徑 2,500 2,500	1月1日 - 18日本 第1時(m) 0.010 0.010	0.010 0.010 0.010	時計増整面 12地震時(m) 0,000 0,000	中立点位置 (a) 2.010 2.010	上載何重 (kH/m ²) 0.010 0.010	バネ定数 Kv 計算値 計算値	Kv (Jd(/u) 	^
No 1 2 3 4 5	留方向 密標(m) 1.000 3.500	使用就 鋼管机 鋼管机	枕長(m) 10.000 10.000	本 数 3	横方向 間隔((w) 2.000 2.000	林間略 ÷杭徑 2.500 2.500	0.010	0月1日 - A6420日 9月2日 - 9月1日 0.000 0.000	前計総盤面 L2地震時(m) 0,000 0,000	中立点位置 (n) 2.010 2.010	上載行 <u>第</u> (kH/n ²) 0.010 0.010	バネ定数 Kv 計算価 計算価	Kv (idl/s) 	^
No 1 2 3 4 5 8	銀方向 座標X(m) 1.000 8.500	使用就 鋼管机 鋼管机	枕兵(w) 10.000 10.000	本 数 3	横方向 間隔((u) 2.000 2.000	秋間時高 ÷杭注 2.500 2.500	1911年9月1日 第14年(19) 0.010 0.010	約計総額 地震時(w) 0.000 0.000	影计整整面 12地震時(m) 0,000	中立点位置 2.010 2.010	上載行覧 (kN/m ²) 0.010 0.010	バネ定数 Kv 計算項 計算項	(k)(b)	^
No 1 2 3 4 5 6 7	縦方向 座標X(m) 1,000 3,500	使用就 鋼管机 鋼管机	枕與(w) 10.000 10.000	本 数 3 3	横方向 間隔((w) 2.000 2.000	林間四高 ÷杭径 2.500 2.500	19日 地址面 第1号(a) 0.010 0.010	13日 地震時(16) 地震時(16) 0.000 0.000	12 12 2 2 2 2 2 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	中立点位置 2.010 2.010	上載符度 (kN/m ²) 0.010 0.010	バネ定数 Kv 計算価 計算価	(kv (d/b)	~

杭配置

以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

スパンNo:1 ブロックNo:1

スパンNo:1 ブロックNo:2

No.	縦方向	使用杭	杭長(m)	本数	横方向	杭間隔	設計地盤面	設計地盤面	設計地盤面	中立点位	上載荷重	バネ定数
	座標X(m)				間隔W(m)	÷杭径	常時(m)	地震時(m)	L2地震時(m)	置(m)	(kN/m²)	
1	1.000	鋼管杭	10.000	3	2.000	2.500	0.000	0.000	0.000	2.000	0.000	計算値
2	3.500	鋼管杭	10.000	3	2.000	2.500	0.000	0.000	0.000	2.000	0.000	計算値

×													Ξ	抗配
				> 4500	24000					6 <u>+</u> 778	● 価価 本 体 検 方 向		× * *	+
-1	置情報のコヒ	105							¥		ックNo:2	 ブロ 	()/No : [1	υ
-	豊情報のコヒ Kv (kN/m)	<u>秋間</u> バネ定数 Kv	上載荷查 (kH/n ²)	中立点位置	設計地盤面 1.2地間時(m)	設計地盤面 地間時(w)	該計述盤面 常時(a)	杭間隔 ÷ 杭径	・ 横方向 開発(s)	本鼓	ックNo:2 杭長(w)	 ブロ 使用枕 	(ンNo: 1 蔵方向 座観((m)	0
-	豊情報のコヒ (kN/m) 	パネ定数 Kv 計算後	上載简重 (HV/m ²) 0.010	中立点位置 (n) 2.010	設計地盤面 L2地間時(m) 0.000	設計地載面 地調時(m) 0.010	該計述盤面 常時(a) 0.010	枕間幕 ÷枕径 2.501	▼ 様方向 間端#(w) 2.003	本 計 3	ックNo:2 杭長(w) 10.100	 ブロ 使用机 RC杭 	2No: 1 聖徳(东向 1.500	•
~	置情報のコヒ (kN/s) 	<u>れ間</u> バネ定数 Kv 計算後 計算後	上載可登 (HVm ²) 0.010 0.010	中 <u>立点位置</u> (n) 2.010 2.010	設計地盤面 1.2地翻時(m) 0.000 0.000	1001-地盤面 地震時(m) 0.010 0.010	設計地盤面 第1年(m) 0.010 0.010	枕間隔 ÷枕径 2.500 2.500	▼ 種方向 脂肪に(w) 2.001 2.001	本 載 3	ックNo:2 枕長(w) 10.100 10.100	 ブロ 使用机 RC机 RC机 	シNo: 1 堅方向 聖都(m) 1.500 8.500	U 10
· ·	豊情報のコロ Ky (kH/s) 	パネ定数 ドな 計算後 計算後 計算後 計算後 計算後	上載(可重 (in)/m ²) 0.010 0.010 0.010	中立: <u>6(3課</u> (n) 2:010 2:010 2:010	設計差盤面 1.2地翻時(m) 0.000 0.000 0.000		18日+地設面 第1年(m) 0.010 0.010 0.010		**************************************	本 載 3 3 3	ックNo:2 枕長(w) 10.100 10.100	 ブロ 使用机 RC机 RC机 RC机 	シNo: 1 載方向 型税(m) 1.500 3.500 5.500	•
· · ·	豊情報のコヒ (kN/s) 	<u>パキ定数</u> ドン 計算値 計算値 計算値 計算値	上載(可整 (kN/m ²) 0.010 0.010 0.010 0.010	中立点位置 (n) 2.010 2.010 2.010 2.010	設計総数面 1.2地路中(m) 0.000 0.000 0.000 0.000	000+345500 325003(w) 0.000 0.000 0.000 0.000	1811-142200 3814(n) 0.010 0.010 0.010 0.010	林間調査 ÷杭位 2.500 2.500 2.500 2.500 2.500	▼ 様方向 開発計(*) 2.000 2.000 2.000 2.000	本 勤 3 3 3 3	ックNo: 2 枕長(w) 10.100 10.100 10.100 10.100	・ 使用秋 RC枝 RC枝 RC秋 RC秋	52No: 1 Stypes Stypes State	0 1 2
	置換報のコヒ (AV#) 	<u>パネ定数</u> Kv 計算様 計算様 計算様 計算様	上載问重 (kH/m ²) 0.010 0.010 0.010 0.010 0.010	中立よい課 (m) 2.000 2.000 2.000 2.000 2.000	設計接盤面 L2接翻号(m) 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000	1001 142200 122003(w) 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000	1811+3422000 78194(m) 0.010 0.010 0.010 0.010 0.010	枕間調査 ÷杭信 2.500 2.500 2.500 2.500 2.500 2.500	* ***********************************	本 計 3 3 3 3 3 3 3	ックNo: 2 枕長(w) 10.100 10.100 10.100 10.100 10.100	 ブロ 使用秋 RC枕 RC枕 RC枕 RC枕 RC枕 RC枕 RC枕 RC枕 	52 No : 1 82 57 69 82 88 (m) 1.500 5.500 7.500 8.500	•
	豊情報のコレ (kN/m) 	大大字定数 Kv 計算優 計算優 計算優 計算優 計算優	上載可重 (kW/m ²) 0.010 0.010 0.010 0.010 0.010 0.010	中立点位置 (n) 2.010 2.010 2.010 2.010 2.010 2.010	Wet+地址面 L2地部中(m) 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000	1000 1442200 1422003(w) 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000	1811+3422000 1811+342000 0.010 0.010 0.010 0.010 0.010 0.010	枕間調査 ÷杭空 2.500 2.500 2.500 2.500 2.500 2.500 2.500	* 2.000 2.000 2.000 2.000 2.000 2.000 2.000 2.000	本 計 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	ックNo: 2 枕長(w) 10.100 10.100 10.100 10.100 10.100 10.100	 プロ 使用秋 RC枕 	52No: 1 52No: 1 1.500 5.500 7.500 9.500 11.500	

No.	縦方向	使用杭	杭長(m)	本数	横方向	杭間隔	設計地盤面	設計地盤面	設計地盤面	中立点位	上載荷重	バネ定数
	座標X(m)				間隔W(m)	÷杭径	常時(m)	地震時(m)	L2地震時(m)	置(m)	(kN/m²)	
1	1.500	RC杭	10.100	3	2.000	2.500	0.000	0.000	0.000	2.000	0.000	計算値
2	3.500	RC杭	10.100	3	2.000	2.500	0.000	0.000	0.000	2.000	0.000	計算値
3	5.500	RC杭	10.100	3	2.000	2.500	0.000	0.000	0.000	2.000	0.000	計算値
4	7.500	RC杭	10.100	3	2.000	2.500	0.000	0.000	0.000	2.000	0.000	計算値
5	9.500	RC杭	10.100	3	2.000	2.500	0.000	0.000	0.000	2.000	0.000	計算値
6	11.500	RC杭	10.100	3	2.000	2.500	0.000	0.000	0.000	2.000	0.000	計算値
7	13.500	RC杭	10.100	3	2.000	2.500	0.000	0.000	0.000	2.000	0.000	計算値



スパンNo:1 ブロックNo:3

No.	縦方向	使用杭	杭長(m)	本数	横方向	杭間隔	設計地盤面	設計地盤面	設計地盤面	中立点位	上載荷重	バネ定数
	座標X(m)				間隔W(m)	÷杭径	常時(m)	地震時(m)	L2地震時(m)	置(m)	(kN/m²)	
1	1.000	鋼管杭	10.000	3	2.000	2.500	0.000	0.000	0.000	2.000	0.000	計算値
2	3.500	鋼管杭	10.000	3	2.000	2.500	0.000	0.000	0.000	2.000	0.000	計算値



側方地盤変位 0.0--2.5 -5.0 -7.5 -10.0 ファイルから読み込み 項番 度版下面からの 地震時(L2-2) へ 深さ(n) (別方変位量(mm) ファイルへ書き込み 0.0000 -62.12 GeoFEAS2Dデータ読み込み -1.0000 -60.02 3 -2.0000 -56 89 -55.77 4 -3.0000 -50.54 -4.0000 6 -5.0000 -40.34 7 -6.0000 -38.67 ※格点の追加・削除はできません。 入力範囲 : -9999.99 ~ 9999.99 ✓ 確定 × 取消 ? ヘルブ(出)



地層·土質

以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

土質

層No.	地層名称	N値	土質	粘着力C	低減係数	低減係数
					DE(L1)	DE(L2-2)
1	砂質	1.0	砂れき	0.00	1.000	1.000
2	シルト(1)	4.1	粘性土	4.00	1.000	1.000
3	シルト(2)	7.8	粘性土	4.00	1.000	0.333
4	シルト(3)	8.7	粘性土	4.00	1.000	0.333
5	シルト(4)	10.6	粘性土	4.00	1.000	0.167
6	シルト(5)	50.0	粘性土	4.00	1.000	1.000

確定ボタンをクリックします。

側方地盤変位

以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

ブロックNo:1 杭No:1

百釆	底版下面からの	
山田田		地展吋(LZ-Z)
	深さ(m)	側万変位量(mm)
1	0.0000	-62.12
2	-1.0000	-60.02
3	-2.0000	-56.89
4	-3.0000	-55.77
5	-4.0000	-50.54
6	-5.0000	-40.34
7	-6.0000	-38.67
8	-7.0000	-35.09
9	-8.0000	-32.99
10	-9.0000	-31.45
11	-10.0000	-30.06

ブロック	7No:1 杭No:2	
頂番	底版下面からの	地震時(L2-2)
	深さ(m)	側方変位量(mm)
1	0.0000	-50.67
2	-1.0000	-48.65
3	-2.0000	-45.87
4	-3.0000	-42.56
5	-4.0000	-40.45
6	-5.0000	-38.56
7	-6.0000	-36.23
8	-7.0000	-34.34
9	-8.0000	-32.80
10	-9.0000	-30.56
11	-10.0000	0.00

ſ	门方地望	皇変位											×
	0.0					1	1						
	-2.5-												
•	-5.0												
	-7.5												
-1	10.0												
	5.0	-17.5 -15.0	-12.5 -10.0	-7.5	-5.0	-2.5	0.0	2.5	5.0	7.5	10.0	12.5	15.0
	スパ	ンNo: 1	▼ ブロック№:	2	-	杭No: 1		-		Г	→ 1		
	杭の回	国体左端位置からの	躍調: 6.000(m)	指定函位	本の底飯周	₹ : 0.500 (n)						
	項番	底版下面からの 深さ(m)	地震時(L2-2) 側方変位量(mm)	^							ファイルオ))り読みz へ書き込	344 74
	1	0.0000	-36.89							-			
	2	-1.0100	-35.34							-	eoFEAS2D7	「一夕読み	込み
	3	-2.0200	-34.65										
	4	-3.0300	-33.56										
	5	-4.0400	-32.78										
	6	-5.0500	-31.23										
	7	-6.0600	-30.12	~									
		※稽点の〕	倉加・削除はできま	せん。									
				λ,†	1範囲 :	-9999.99	~ 9999.	99					
									/ 確定	>	(取消	? ~N	∃(B) F

ブロック	7No:2 杭No:1	
頂番	底版下面からの	地震時(L2-2)
	深さ(m)	側方変位量(mm)
1	0.0000	-36.89
2	-1.0100	-35.34
3	-2.0200	-34.65
4	-3.0300	-33.56
5	-4.0400	-32.78
6	-5.0500	-31.23
7	-6.0600	-30.12
8	-7.0700	-29.45
9	-8.0800	-28.32
10	-9.0900	-27.89
11	-10.1000	-27.67



ブロック	⁷ No:2 杭No:2	
頂番	底版下面からの	地震時(L2-2)
	深さ(m)	側方変位量(mm)
1	0.0000	-23.45
2	-1.0100	-22.56
3	-2.0200	-21.87
4	-3.0300	-21.45
5	-4.0400	-20.87
6	-5.0500	-20.02
7	-6.0600	-19.34
8	-7.0700	-18.87
9	-8.0800	-18.04
10	-9.0900	-17.65
11	-10.1000	-17.23



ブロック	Na.O	t±NI-		0
ノロック	No [.] 2	⊼л.No	2	н

	12 0	
頂番	底版下面からの	地震時(L2-2)
	深さ(m)	側方変位量(mm)
1	0.0000	-13.78
2	-1.0100	-13.04
3	-2.0200	-12.78
4	-3.0300	-12.07
5	-4.0400	-11.89
6	-5.0500	-11.23
7	-6.0600	-10.79
8	-7.0700	-10.12
9	-8.0800	-9.67
10	-9.0900	-9.02
11	-10.1000	-8.85

20

側方地翻	皇変位				×
0.0			Ť		
-2.5					
-5.0					
-7.5					
-10.0					
-1	17.5 -15.0 -1	2.5 -10.0 -7.5	-5.0 -2.5 0.0 2.5 5.	0 7.5 10	0.0 12.5 15.0 17.
**/DE	いいい。 転体力器位要からの	✓ JU 9 9 000 12 9580 • 12 000(∞) 185	▲ 1000. (m)		∣→⊥
11070		12:000(m) 18:	EE0140/20204 . 0.000(#/		ファイルから読み込み
項番	/Boalx FEE/からの 決まさ(m)	但因为变位量(mm)			ファイルへ書き込み
1	0.0000	0.00			
2	-1.0100	0.00			GeoFEAS2Dデータ読み込み
3	-2.0200	0.00			
4	-3.0300	0.00			
5	-4.0400	0.00			
6	-5.0500	0.00			
7	-6.0600	0.00 🗸			
	※格点の)	倉加・削除まできません	•		
				✓ 確定	× 取消 │ ? ヘルプ(出)

ブロックNo:2 杭番号:5

頂番	底版下面からの	地震時(L2-2)
	深さ(m)	側方変位量(mm)
1	0.0000	0.00
2	-1.0100	0.00
3	-2.0200	0.00
4	-3.0300	0.00
5	-4.0400	0.00
6	-5.0500	0.00
7	-6.0600	0.00
8	-7.0700	0.00
9	-8.0800	0.00
10	-9.0900	0.00
11	-10.1000	0.00



頂番	底版下面からの	地震時(L2-2)
	深さ(m)	側方変位量(mm)
1	0.0000	16.78
2	-1.0100	16.23
3	-2.0200	15.98
4	-3.0300	15.23
5	-4.0400	14.78
6	-5.0500	14.12
7	-6.0600	13.76
8	-7.0700	13.23
9	-8.0800	12.76
10	-9.0900	12.23
11	-10.1000	11.66



ノロシノNU.Z 忉旧	昏号	:6
-------------	----	----

頂番	底版下面からの	地震時(L2-2)
	深さ(m)	側方変位量(mm)
1	0.0000	33.45
2	-1.0100	33.01
3	-2.0200	32.67
4	-3.0300	32.11
5	-4.0400	31.76
6	-5.0500	31.12
7	-6.0600	30.88
8	-7.0700	30.22
9	-8.0800	29.66
10	-9.0900	29.12
11	-10.1000	28.66



ブロックNo:2 杭番号:7							
頂番	底版下面からの	地震時(L2-2)					
	深さ(m)	側方変位量(mm)					
1	0.0000	46.76					
2	-1.0100	46.11					
3	-2.0200	45.65					
4	-3.0300	45.00					
5	-4.0400	44.59					
6	-5.0500	44.01					
7	-6.0600	43.68					
8	-7.0700	43.03					
9	-8.0800	42.88					
10	-9.0900	42.22					
11	-10.1000	41.66					



頂番	底版下面からの	地震時(L2-2)
	深さ(m)	側方変位量(mm)
1	0.0000	67.08
2	-1.0000	66.56
3	-2.0000	65.23
4	-3.0000	64.22
5	-4.0000	63.23
6	-5.0000	62.09
7	-6.0000	61.44
8	-7.0000	60.23
9	-8.0000	59.34
10	-9.0000	58.66
11	-10.0000	57.22



ブロックNo:3 杭番号:2

ブロックNo:3 杭番号:1

頂番	底版下面からの	地震時(L2-2)
	深さ(m)	側方変位量(mm)
1	0.0000	89.56
2	-1.0000	87.43
3	-2.0000	85.23
4	-3.0000	78.45
5	-4.0000	75.34
6	-5.0000	70.23
7	-6.0000	68.67
8	-7.0000	65.21
9	-8.0000	61.67
10	-9.0000	56.09
11	-10.0000	50.45



計算条件							×
枕頭/杭先端条件 支持力/引抜き力 負の周面摩擦 計	算モデル						
しゃ水鋼矢板の取り扱い ⓒ 計算に考慮しない ○ 計算に考慮する	— しゃ水壁設置位i α・Eo	置の換算 : □	所数 2800.	.0			
スパン間支点パネのX方向拘束条件 ○ 拘束しない ○ 拘束する	低减係数DE						
・地盤変位荷重寛出時(幅B)の寛定方法 ○ 張り出し寸法考慮 ○ 張り出し寸法無視	レベル1地震	ო : [0.33	13			
○ 浮力算出時(幅B)の算定方法 ○ 張り出し寸法考慮 ○ 張り出し寸法無視	- 埋め戻し土						
	土砂(湿潤)	γt	kN/n ³	18.00			
- 杭伸の水平荷重の取り扱い C 1/2する (2 1/2 1 かい)	土砂(飽和)	γ sat	kN/n ³	18.80			
	内部摩擦角	¢	度	30.00			
分割ビッチ(第時・L1、L2): 0.5 (m)							
	入力範囲 : 0.10	~ 25.0	0				
				_ ✔ 確	œ	🗙 取消	<u>?</u> へルプ(<u>H</u>)

計算条件(レベル2)	×
基本 耐力照査	
 ∼ 液状化の考慮 ☞ 考慮する ○ 考慮しない 	
【 ✔ 確定】 _ ★ 取消 】 ? へ	ルプ(<u>H</u>)

計算条件

杭頭/杭先端条件 支持力/引抜き力 負の周面摩擦 変更する点はありません。

計算モデル

以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

<分割ピッチ(常時・L1、L2):0.5(m)> <低減係数DE レベル1地震動:0.333>

確定ボタンをクリックします。

計算条件(レベル2)

基本 耐力照査 変更する点はありません。

考え方



本体縦方向の設計における、各種考え方を定義します。

基本1 変更する点はありません

え方	×
基本1 基本2 応力度照査	
□部材がネの算定方法 ○ 張り出し寸法考慮 ○ 張り出し寸法無測	
 ● (福 封 重の算定方法) ○ 張り出し寸法無親 ○ 張り出し寸法無親 	
● 地盤実位荷重賞出時(幅B)の賞定方法 6 張り出し寸法考慮	
断面は全の算定方法 ○ 張り出し寸法考慮 ○ 張り出し寸法無視	
地震時荷重 「 平常時・地震時荷重の重ね合わせを行う	
▲支持における面体と基礎地盤の相対開性 (*)自動設定	
○ 函体を弾性梁	
 面(体を開)体 	
✓ 確定 × 取消 ?	ヘルブ(出)

基本2

以下の項目について選択肢を変更します。 <部材バネの算定方法:張り出し寸法無視>

基本1 | 基本2 応力度照査 | 応力度計算の形状(補修・補強以外) ○ T型or矩形 ○ BOX形状(中型 最小鉄筋量 ○ BOX形状(中空) - 最小鉄筋量の計算 -鉄筋 ○単鉄筋 ⊙ する ○ しない ④ 複鉄筋 最小鉄筋量の計算タイプ・ - せん断照査 (* 行う ⊙b∙d ○ 行わない C Ac 応力度算出時の軸力考慮 ○ 汚慮する ○ 考慮しない 最小鉄筋量計算パーセント(%): 0.30 必要鉄筋量照査 ● 行う - 最小鉄筋量照査条件に必要鉄筋量4/3と比較する ○ 行わない ⊙ する ○ しない ✓ 確定 × 取消 ? ヘルブ(Ⅱ)

応力度照査

以下の項目について選択肢を変更します。 <せん断照査:行う> <応力度算出時の軸力考慮:考慮する>

確定ボタンをクリックします。

2 計算実行

考え方



3 計算結果



 学習的状況実的調体R 0.000度計算編集電影(非定素)
 ー ロ ×

 01
 01

 100
 1000(730)
 0.01(740)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930)
 0.01(74(930))
 0.01(74(930))
 0.01(74(930))
 0.01(74(930))
 0.01(74(930))
 0.01(74(



4. 極門(杭支持) 杭体応力度計算結果確認-[判定表] o x ОК 荷重ID 種類 ふり - 杭 断面番号 σc(N/mm²) $\sigma(N/mm^2)$ $\sigma'(N/mm^2)$ τ(N/mm²) <u>1-常時</u> <u>1-地震時</u> <u>1-常時</u> <u>1-常時</u> <u>1-常時</u> -30,75 < 140.00 31.77 < 140.00 0.06 < 80.00
 -30.75 < 146.00</td>
 31.77 < 140.00</td>
 30.85 < 80.00</td>

 -10.68 < 210.00</td>
 5.294 < 210.00</td>
 2.75 < 120.00</td>

 -34.04 < 140.00</td>
 5.294 < 210.00</td>
 0.04 < 0.95</td>

 -20.05 < 210.00</td>
 55.53 < 210.00</td>
 0.83 < 144.00</td>

 -38.44 < 140.00</td>
 46.25 < 140.00</td>
 0.83 < 140.00</td>

 -28.45 < 210.00</td>
 64.25 < 140.00</td>
 0.25 < 60.00</td>

 -28.45 < 210.00</td>
 61.48 < 210.00</td>
 2.41 < 120.00</td>
 1-1 2-1 6.47 < 13.50 1-2 1-3 1-3 9.82 < 20.20 2-1 EDG(- [19.240] ? \1.7\1 単位切替表示設定

函体の応力度計算結果確認(杭支持モデル)

杭支持モデルの函体の応力度計算結果(判定表)を表示します。

結果を確認後、閉じるボタンをクリックします。

杭体の応力度計算結果確認(杭支持モデル) 杭支持モデルの杭体の応力度計算結果を表示します。

結果を確認後、閉じるボタンをクリックします。





・<



W	本体縦方向(抗体) L2耐力照直結果確認[曲げ耐力-利定表]							-		×
C	<mark>ж</mark> Г	ベル2地震動	(レベリレ2-2)	•						
曲げ	耐力 せ,	ん断耐力								
Γ	スパン 番号	ブロック 番号	部材 情報	距離 X(m)	距離 Y(m)	軸力 N(kN)	曲げモーメント M(kN.m)	終局/全 モーズ Mu/Mp(k	塑性 小 N.m)	
	1	2	<u>5-178-I</u>	14.000	-0.500	502.720	-55.243	483.43	8	
3	単位切替	表示設計	き 計算者	許作成			ED.61 -	開いる(Q)	? '	\$\$7*(⊞)

函体耐力計算結果確認(杭支持モデル)

杭(レベル2)の計算結果を確認します。 函体耐力の計算結果を曲げ耐力とせん断耐力ごとに表示します。

結果を確認後、閉じるボタンをクリックします。

杭体耐力計算結果確認(杭支持モデル) 杭(レベル2)の計算結果を確認します。 杭体耐力の計算結果を曲げ耐力とせん断耐力ごとに表示しま す。

結果を確認後、閉じるボタンをクリックします。

4 計算書作成

第門 出力設定 構造物 ○単体 ○全体 ○両方

全選択・解除

○計算書

全選択・解除

○ 一覧表



計算書作成ボタンをクリックすると、杭支持モデルの常時、地 震時L1の結果一覧、結果詳細を出力することが可能です。

 ▼ 整土
 〒 現5度土
 〒 屋を雪加雪田
 戸 営士四
 戸 部本地
 戸 第二四
 戸 加5地域
 戸 入心・ブロック
 戸 新田浩士
 戸 北季
 戸 七の木製工
 戸 七の木製工
 戸 七の木製工
 戸 七の木製工 ○ 荷重
 ○ 常時
 ○ 常時
 ○ 常新館
 ○ 荷重回重
 ○ 荷重回
 ○ 荷重回
 ○ 荷重(1×10)
 ○ 荷重(1×10)
 ○ 荷重(1×10)
 ○ 荷重(1×10)
 ○ 戸重(1×10)
 ○ 戸重(1×10)
 ○ 戸 (1×10)
 ○ 戸 ○ 沈下田 マ 地獄特法下・水平分1.2) マ 沈下田 ▼ 鉄筋(第時+11,12) ▼ 主鉄(設置) ▼ 補修・補強 ▼ 材料 ▼ 材料 ▼ 材料(適用基準) ▼ 寸法 ○ 回転 ○ 地理条件 ○ 地理条件 ○ 地理図 ○ 地理図 ○ 法干量算出 ○ 第三位第 ○ 算出位第 ○ 日間時間 ② 書が認定(0) 良(7)に「3(0)

《 単定 2、7)に「3(0) 📑 F8出力編集ツール 印刷プレビュー D X

 ● Reat 力爆発ブール 印刷パレビー
 - □

 アイル印 表示の モデオ的気() ヘルブ山)
 RD3260() 日本() 小ルブ山)

 RD3260() 日本() 小ルブ山)
 日本() 小ルブ山)

 RD3260() 日本() 小ルブ山)
 1.1

 RD3260() 日本() 小ルブ山)
 1.2

 RD3260() 日本() 小ルブ山)
 1.2

 RD3260() 日本() 小ルブ山)
 1.2

 RD3260() 日本() 小ルブ山)
 1.2

 RD317() 日本() 小ルブ山)
 1.1

 RD317() 日本() 小ルブロ)
 <td ファイル(E) 表示(V) 電子納品(C) ヘルプ(H)

H ◀ 30/543 ► H 209 x 297mm .

チェックした項目を出力することができます。

プレビューボタンをクリックすると印刷プレビュー画面が表示 されます。

続けて、実際に印刷を行う場合は印刷ボタンをクリックしてく ださい。







本体縦方向レベル2計算書作成

本体縦方向レベル2地震動の断面力の結果ボタンをクリックします。

チェックした項目を出力することができます。

-プレビューボタンをクリックすると印刷プレビュー画面が表示 されます。

5 データ保存

🦉 名前を付けて保	存					×				
保存する場所([)): 📘 sample		• ÷ i •	•						
4	名前	^	更新日時	種類	サイズ	^				
	sample1.F7H		2024/01/25 17:10	柔構造樋門の設計	655 KB					
ツイッツ アクセス	sample2.F7H		2024/01/18 9:18	柔構造樋門の設計	790 KB					
	sample3.F7H		2024/01/18 9:18	柔構造樋門の設計	735 KB					
#7/1hm7	sample4.F7H		2024/01/18 9:18	柔構造樋門の設計	723 KB					
12111	響 sample5(更新).	F7H	2024/03/04 15:37	柔構造徳門の設計	862 KB					
-	sample5.F7H		2024/01/18 9:18	柔構造樋門の設計	808 KB					
ライブラリ	sample6.F7H		2024/01/18 9:18	柔構造樋門の設計	1,042 KB					
	sample7.F7H		2024/01/18 9:18	柔構造樋門の設計	863 KB					
	sample8.F7H		2024/01/18 9:18	柔構造樋門の設計	505 KB					
PC	sample9.F7H		2024/01/18 9:18	柔構造樋門の設計	629 KB					
	sample10.F7H		2024/01/18 9:18	柔構造樋門の設計	761 KB					
- -	sample11.F7H		2024/01/18 9:18	柔構造槌門の設計	858 KB					
ネットワーク	sample12.F7H		2024/01/23 10:17	柔構造樋門の設計	622 KB					
	sample 13. F7H		2024/01/18 9:18	柔構造樋門の設計	814 KB					
	sample14.F7H		2024/01/18 9:18	柔構造樋門の設計	606 KB					
	sample15.F7H		2024/01/25 17:10	柔構遠樋門の設計	992 KB	~				
	ファイル名(<u>N</u>):	sample11.F7H		•	保存(5)					
	ファイルの種類(工):	柔構造機門の設計 デー	タファイル(*.F7H)	-	キャンセル					
シアイル情報	Additional . one	222 Vox 17 (uPA)				_				
80 - 50 - 10 - 19	2000	LUD YEL 17 (104)				_				
#emp/1 *9 #7: [1	7.0.0.0					_				
771W1 ~9 a7: [1	7.0.0.0									
TF 5% H : 2	作 成 日: 2024/03/04									
会 社 名:	22 任 名:									
部 著 名:						_				
作成者名:						_				
コメントロ	2連RC面体及び付属相	青造物本体縦方向耐震)	こ関するサンブルデータ(図面	データを含む〉						

ファイル保存 [ファイル]-[名前を付けて保存]よりデータの保存が可能です。



データを保存せず終了しようとすると図の様なメッセージが表示されます。 必要に応じてデータ保存してください。

※Q&Aは、柔構造樋門の設計・3D配筋操作ガイダンス(https://ftp.forum8.co.jp/forum8lib/douro/himon/himon-gui.pdf)とホームページ(http://www.forum8.co.jp/faq/win/himon.htm)に掲載しております。

柔構造樋門の設計・3D配筋 (杭支持オプション)操作ガイダンス

2024年 3月 第11版

発行元 株式会社フォーラムエイト 〒108-6021 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟21F TEL 03-6894-1888

禁複製

お問い合わせについて

本製品及び本書について、ご不明な点がございましたら、弊社、「サポート窓口」へ お問い合わせ下さい。 なお、ホームページでは、Q&Aを掲載しております。こちらもご利用下さい。

> ホームページ www.forum8.co.jp サポート窓口 ic@forum8.co.jp FAX 0985-55-3027

柔構造樋門の設計・3D配筋(杭支持オプション) 操作ガイダンス

www.forum8.co.jp